

# 平成29年度 宮城県中学生バスケットボール地区対抗選抜大会実施要項

1. 目的 (1) 県内の中学生の技術力向上を目指して行っている地区トレセンでの成果を発揮させる。  
(2) ジュニアオールスターに向けて、県下全域から優秀な人材を発掘する。
2. 主催 宮城県中学生バスケットボール連盟
3. 共催 宮城県バスケットボール協会
4. 期日 平成29年12月9日(土), 10日(日)
5. 会場 男子: 栗原市立瀬峰中学校  
女子: 9日(土) …栗原市立若柳中学校  
10日(日) …栗原市立志波姫中学校
6. 競技方法 大会本部の責任で地区を振り分け、2日間の対戦相手を決定する。  
試合間5分 8分-1分-8分, ハーフタイム5分 4ピリオドフルゲーム
7. 参加資格 日本バスケットボール協会に選手登録している各地区の1, 2年生の選抜選手
8. 競技規則 現行の日本バスケットボール協会規則による。その他, 新人戦・中総体に準ずる。
9. 参加申込み 平成29年11月24日(金)までに, 必要事項をすべて記入の上, Excelファイルで申し込むこと。(スタッフ傷害保険加入手続きのため期日厳守)

## 10. 申し合わせ事項

### (1) 大会の趣旨について

- ①順位を付ける対戦形式だと勝負のために出場選手が固定されてしまい, より多くの選手に優れた技能を発揮させるという本大会の趣旨が守られない場合がある。したがって, 組合せは大会本部で2日間の対戦相手を決定し, 順位は決めない。本大会は県選抜選手の選考が本来の目的であることを周知徹底していただくとともに, スタッフについてはベンチワーク・マナー(服装や言動を含む)についても, 宮城県最上位の大会であることを十分に理解して, 試合に臨んでいただきたい。
- ②選手の適性を見るために1試合を通して必ずマンツーマンを行うこと。ゾーンは禁止とする。
- ③選手の出場時間については特に罰則を設けないが, より多くの選手に出場機会を与えるという観点から, 2年生は全員最低でも1P時間以上, 最大で2P分の時間を目安に出場させてください。  
(ただし, 1年生については来年もあるのでこの限りではない。各地区で判断してください。)

### (2) 組み合わせについて

- ①仙台市の4地区を分ける。その他の地区については, 大会本部の責任において振り分けをする。
- ②選手の技量を適切に見るために, 1日目の組合せは12月2日・3日に行われる県新人大会の結果を受けて決定する。また, 2日目の組合せは1日目の結果を受けて, 大会本部で協議の上, なるべく戦力が均衡している地区同士を対戦させる。

(3) 大会中の怪我について

本大会における怪我については、各地区選抜チームでかけているスポーツ傷害保険での保障となる。  
(部活動扱いとしての学校の保険は適用されません。)

(4) 審判について

- ①各地区、必ずベンチスタッフ以外で帯同審判を男女それぞれ1名以上出してください。
- ②審判は自チームの試合を審判する。

(5) その他

- ①選手引率については、保護者の承諾を得て、保護者引率を原則とする。
- ②駐車券は発行いたしません。それぞれの会場での誘導に従ってください。
- ③開催地区で旅館など宿泊施設の斡旋は行いません。各地区でお申込下さい。
- ④今大会は、連盟主催の大会であり、中体連からの派遣依頼、交通費の支給はありません。
- ⑤役員・審判・スタッフ全員、大会期間中の保険を掛けるので、大会に関わる、各地区関係者の氏名と生年月日を参加申込みのメールでお知らせ下さい。
- ⑥地震など緊急時の際は「宮城県中学生バスケットボール連盟」のHPへの掲載ならびに各地区強化担当者へ連絡いたします。  
※開催地区で震度5以上の地震があった場合、開催の有無を下記の要領にしたがって決定する。
  - ・前日の20:00まで  
現地の状況を確認して開催の有無を判断する。連盟HPへの掲載、各地区担当者へ連絡する。
  - ・前日の20:00以降  
次の日の開催は中止とする。2日目の開催は現地の状況を確認して開催が可能であれば大会を行う。
- ⑦会場ごとに当日の天候や交通の状況によって、帰宅時間などを考慮して試合時間・形式の変更をする場合があります。

⑧開催地区ローテーション

H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36
栗原	仙台南	大崎	大河原	石巻	仙台北	南三陸	登米